

授業科目 社会学Ⅱ

【担当教員名】 山手 茂	対象学年	1 2	対象学科	作業・社会
	開講時期	後期	必修・選択	作業 1年選択・社会 2年必修
	単位数	2	時間数	30

<概要>

ソーシャルワーカーおよびヘルスワーカーのための社会学を、福祉社会学・保健医療社会学として概説する。福祉社会学は、社会福祉学の中核的基礎科学である。

<学習目標>

1. 前期「社会学」履修をふまえて、現代社会の諸問題について理解する。
2. 21世紀の福祉・保健の課題を理解する。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	前近代社会と近代社会・・・産業革命・市民革命を契機とする近代化・市民社会の形成		講義受講, 読書等自主学習
2	近代社会と現代社会・・・近代社会の諸問題と社会変動の諸側面		
3	民主化の進展・・・間接民主主義から直接民主主義へ、基本的人権の認識の拡充へ		
4	脱工業化の進展・・・サービス経済化、情報化、産業構造の変化、経済のリストラクチャリング		
5	高学歴化の進展・・・科学・技術の発展、専門職の役割		
6	国際化の進展・・・グローバリズムと「内なる国際化」		
7	生活の不安定化・・・産業・経済構造の変化と生活構造の変化		
8	新しい社会問題・・・ホームレス増加、老後不安、育児不安、孤立化等		
9	社会参加活動・・・ボランティア活動、ネットワーキング活動等		
10	社会学と社会福祉・・・福祉社会学の構造と課題、福祉社会学と保健医療社会学		
11	福祉政策・・・社会政策と福祉政策・保健医療政策		
12	保健福祉計画・・・社会計画と保健福祉計画		
13	福祉社会・・・福祉国家と福祉社会・福祉コミュニティ・福祉NPO		
14	まとめ		
15	"		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	ソーシャルワーカーのための社会学	岩上真珠他編	有斐閣	2002年 2,500円
参考書	随時紹介する			
その他の資料	毎時間印刷教材を配布する			
【評価方法】	【履修上の留意点】			
①レポート、②出席、③期末試験を総合して評価する。	前期「社会学」の履修を前提にして、変動しつつある現代社会への理解を深め、「よりよい社会」の形成とそのため専門職と市民の課題について主体的に考えること。			